



# いはら陽輔

## 活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

### 平成27年和光市議会3月定例会報告

### 施政方針に対する質問をしました！

2月22日(日)～3月17日(火)の期間で3月定例会が行われました。1年に1度、日曜日が開会日となる議会のため、たくさんの傍聴者が来られました。開会日は市長の施政方針演説が行われ、各会派の代表が質問をしました。施政方針の主要事業及び平成27年度予算の概要は以下の通りです。

※施政方針とは平成27年度の市政運営の基本的な考え方や主要施策等の方針を示したもの



#### 都市基盤

- 駅北口駅前広場の整備の計画策定費用の計上
- 北インター地区への大規模物流業者の誘致
- 市道378号線(水道道路)の拡幅

#### 教育・文化・交流

- 多機能型の下新倉小学校の整備
- 放課後子ども事業(わこうっこクラブ)の設置
- 自治体間協定締結遺跡展示会の実施

#### 保健・福祉・医療

- 多制度にわたるケアマネジメントの一元化
- 定員70名の多機能型保育園の新設
- 中央エリアに介護予防拠点の整備

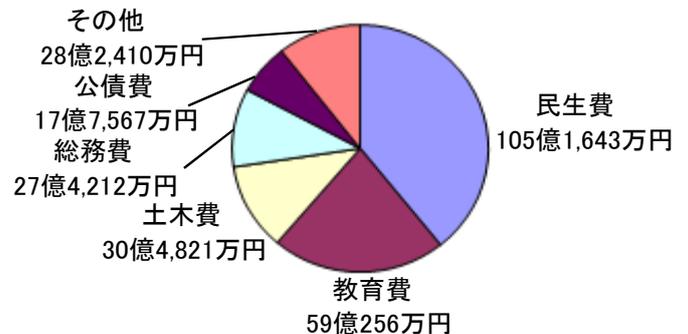
#### 生活・環境・産業

- 危機管理専門員を新たに設置
- 住宅用省エネ機器導入への補助
- 北インター地区進出企業への利子補給の実施

#### 平成27年度当初予算(単位:万円)

会計名	平成26年度	平成27年度	増減額
一般会計	227億5,600	268億900	40億5,300
国民健康保険	71億4,313	81億1,608	9億7,295
後期高齢者	5億9,952	6億2,489	2,537
介護保険	31億1,481	30億8,827	△2,653
駅北口	4億5,289	6億7,176	2億1,887
総計	340億6,635	393億1,001	52億4,366

#### 平成27年度一般会計予算【歳出】



歳入の大半は市税で占められていますが、市税収入は昨年度より微増しているものの、依然として厳しい状況です。歳出は昨年度より約40億円増加しております。その要因は新設する下新倉小学校の建設に約39億3千万円計上していることにあります。下新倉小学校の開校は来年4月開校です。

### その他の主な提出議案(抜粋)

#### ● 和光市介護保険条例の一部改正

介護保険法の改正により訪問介護と通所介護が市町村の行う地域支援事業へ移行します。しかし、和光市では先行実施をしていたため平成27年4月から全面的に「新しい総合事業」に移行します。また、保険料金の所得段階を10段階12階層から13段階に細分化し所得基準を改正します。  
《改正前》49,800円(月額4,150円) ⇒ 《改正後》50,730円(月額4,228円)  
和光市では新しい総合事業は先行実施しており、また保険料はわずか78円の増加ですので、これまでのサービスと変わることなくご利用いただけます。

## ● 和光市特定教育・保育施設及び特定地域型事業の利用者負担額に関する条例

平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行されることにともない、利用者負担額(保育料)を定めるものです。国の定める利用者負担額の徴収限度額に対する負担水準および現行の保育料の負担率の不均衡を是正した内容になっています。

## ● 平成26年度和光市一般会計補正予算

・ 地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用した事業

(1)市内商店等で共通して使用できるプレミアム付商品券を発行する(80,000千円)

(2)市内防犯カメラ設置(3,728千円)および小・中学校への防犯カメラ設置(合計12,195千円)

・ 個別がん検診委託料のうち、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診等の受信者数が増加したことによる増額補正(13,906千円)

・ (仮称)放課後図書室解放

放課後に学校の図書室を解放し、主に高学年児童に対して安心・安全な居場所を提供する(4,274千円)

## いはら陽輔の一般質問の要旨

### 災害協定都市とのWebサーバの持ち合い

問: 東日本大震災の際には市のホームページにアクセスが集中してつながりにくくなった。負荷を分散させるためWebサーバの複製を災害協定都市と相互に持ち合うことを提案したい。

答: 現在サーバを設置している場所にもう一台設置する必要があるためコスト面から困難である。しかし災害協定都市の中で東松山市と被災都市のホームページ作成、掲示等について明記されている。先方との調整が必要となるが、災害情報が遅延なく掲載できるように対応していきたい。

### 企業のサテライトオフィスの誘致

問: ファシリティマネジメントの一環として今後公共施設の統廃合を検討していくと思うが、稼働率の低い施設を企業のサテライトオフィスとして活用することを提案したいがいかがか。

答: 真に需要があるか確かなマーケットリサーチによる採算性の検討とともに、サテライトオフィスの開設、誘致には受け皿となるスペースの確保が前提となるので、今後、駅周辺の開発や公共施設の統廃合あるいは多機能型施設への転換の中で、需要に見合ったスペースの確保、創出の検討が必要であると考えている。

### 振り込め詐欺等の特殊詐欺の防止

問: 1月29日に警察庁が発表した広報資料によると、昨年の全国の振り込め詐欺等の特殊詐欺は認知件数、被害額ともに前年を大幅に上回り過去最悪だったとのこと。また被害者の約8割が65歳以上の高齢者となっている。様々な媒体で注意を喚起しているにもかかわらず一向に状況が改善されていない。

特殊詐欺の中で最も被害額が多いのが「オレオレ詐欺」だが警察に協力をお願いして、高齢者の方にオレオレ詐欺の疑似体験をしてもらうイベントを共催してはどうか。

答: 詐欺被害の防止策としては迷惑電話チェッカーの無償貸し出しや、自治会への啓発資料の配布等を行っている。オレオレ詐欺の疑似体験は実施していないが効果は相当あるのではないかと考えている。今後については警察で協力していただけるかどうかも含めて検討していきたい。

### ICTを活用した子育て支援

問: 和光市では子育てポータルサイト「ママフレ」を開設している。しかし、このサイトの存在がほとんど知られていない。周知を行い利用率を上げるべきと考える。また開設以来、市からの情報の更新がされていないので改善すべきと考えるがいかがか。

答: ご指摘通り、周知が十分でない点についてはサイトの表示方法の改善に加え、母子健康手帳交付時や各種検診時における周知や母子保健コーディネータによる案内も進めていく。

また、情報更新については専用の担当を置き、必要な情報を迅速かつタイムリーに提供できるように徹底する。

### 携帯電話販売店における説明義務

問: 警察庁の調査で全国の携帯電話販売店の約半数が、18歳未満の青少年に携帯電話を販売する際にフィルタリングや機能制限の説明を十分に行っていないという結果が出た。法律や県条例で説明義務が課されているが守られていない。和光市内の業者に対して説明の徹底を求めてほしい。

答: 県の条例では携帯電話事業者には説明義務が、保護者には説明を聞く努力義務が課せられている。フィルタリングの説明が適切になされるように県や警察署、通信会社等諸機関と連携を図った対応を進める。販売店に適切な対応を求める依頼について検討していく。

### 他市との電算システムの共同利用

問: 過去の一般質問にて他の朝霞地区3市との共同利用についてそれぞれの自治体の意向を確認してほしいと要望したがその後の状況はいかがか？

答: 3市ともに現時点では共同利用の検討は行っていない。しかし、当市と同じシステムを利用している団体に対して委託事業者から順次クラウド型サービスに移行するように提案をしていただいている。他団体が参入すれば割り勘効果も期待できる。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。



## 対談：『埼玉県政と和光市政の4年間について語る』

埼玉県議会議員

(元和光市議会議員)

和光市議会議員

# 井上 わたる × いはら 陽輔

いづる 本日はお忙しいところお時間をいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

井上 こちらこそよろしくお願いいたします。

### ● 県から見た和光市政について

いづる 井上さんは和光市議会を離れて4年間経ちますが外からはどのように見えましたか？

井上 改めて和光市は先進的な市だと思いました。県議会においても、先進事例として和光市の介護予防事業や「わこう版ネウボラ」の話題がよく取り上げられます。

### ● 地震対策について

いづる 4年前に東日本大震災が発生しましたが和光市では計画停電の実施で大騒ぎでした。井上さんと二人で計画停電のタイムスケジュールを載せたチラシを配りましたね。

井上 あのチラシは驚異的なスピードで受け取ってもらえましたね。2千枚用意しましたが1時間もたないうちになりました。災害時の「情報」の大切さと共に、こういう時こそ身近な地方議員が果たせる役割があると思いました。

また震災の時は帰宅困難者で駅が大混雑しました。いはらさんはこの度の議会で帰宅困難者対策について質問されましたね？

いづる はい。私は帰宅抑制策という観点から質問いたしました。市内企業では帰宅困難者用の食糧の備蓄、また、和光市駅でも可能な範囲で災害備蓄の配備を進められているとのこと。井上さんもこの度の県議会2月定例会も含め、何度もこの問題を取り上げられていますよね？

井上 和光市までの帰宅対策ももちろんですが、県の立場ですと和光市からもっと先に帰宅する方に対する支援も必要です。県境に接する和光だからこそ出来る事を考え、情報提供環境の充実、支援ステーションの整備など提案しております。

いづる また、震災の時には携帯電話の電話回線や通信回線が通じず不安になった方も多かったのではないのでしょうか。そこで市有施設へのWi-Fiスポットの設置を一般質問で提案しました。その結果、現在市役所を始め、公民館、地域センター、コミュニティセンターなど非常に多くの施設で利用できるようになっております。災害時だけでなく普段使いでも非常に便利ですので、是非使用できるように携帯電話の設定をしていただきたいです。

井上 私も市役所に行った際に実際に利用できることを確認しました。通信速度も速くなるので便利ですね。もっと多くの人に知りたいです。

## ● 行政機関のIT化について

**陽上** いはらさんはITの専門家として市議会でIT関連の質問をたくさんされてきました。最も効果のあったと思われる事例は何ですか？

**いづる** そうですね。本当にIT関連の質問はたくさんしました。市民の皆様と直接関係することが少ない分野ですのでなかなか伝わりにくい面があるのですが、行政事務の効率化やコストの削減が可能となり、結果として市民サービスの向上にも結びつくことが大いにあります。

最も効果のあった事例ということですが、コスト削減という面においては、税や住民記録といった基幹系システムをクラウド型のシステムに入れ替えたことですね。従来のシステムと比較して5年間のシステム使用料、保守費用、端末等の機器費用の合計で約5,300万円の削減ができます。

**陽上** すごい効果ですね。いはらさんから和光市の事例を県庁でも実践してほしい、という画期的な提言をいただきました。その後、電子県庁改革についての予算要望を県に提出しました。

県におけるコスト削減効果は相当なものになると思いますので引き続き推進していきたいと思います。

## ● 子ども・子育て支援について

**いづる** 私たちの共通点は小さな子供を抱えながらの議員活動ですよ。両立は大変ですが、和光市は平均年齢が低く、まちでも親子の姿を多く見かけますので、自分と同じ境遇の方を見ると非常に勇気づけられます。また子育て支援センターやつどいの広場など子育て支援施設が充実しているので大変助かりました。

一方で和光市では0～2歳児が保育所に入りづらい状況があります。議会において小規模保育の整備を要望しました。今後、認可保育所も含め随時整備される計画です。私はこうした保育所整備と「わこう版ネウボラ」の推進が子育て支援の最重要施策だと考えています。

**陽上** 私のところはまだ子供が生まれたばかりです。ネウボラを利用して保健師さんに子育て相談に乗っていただいたりしています。私もいはらさんも今まさに「親」として子育てに向き合っているからこそ「議員」として、同じ悩みを抱えている方々のために子育て施策に取り組みたいという気持ちが強くなりますよね。

**いづる** 本当にその通りですね！県の子ども・子育て支援の状況はいかがでしょうか？

**陽上** 県も独自の施策を進めています。現在、不妊に悩んでいる夫婦が非常に多いです。実は原因の半分は男性にあります。そこで新たに男性不妊治療費の助成事業を始めます。まだ事業に対する認知度が低いので周知を積極的に行っていきたいと思います。

## ● 地域活性化について

**いづる** 2013年3月16日に東京メトロ副都心線と東急東横線、みなとみらい線が直通し、和光市駅から横浜中華街まで約1時間で行けるようになりました。

直通日当日は和光市駅周辺で開通イベントが開催されましたが、このイベントには井上さんにもご尽力いただき県の協力を取り付けていただきましたね。

**陽上** 当初県は川越への人の呼び込みをメインに考えていて、和光市は支援対象から漏れていました。和光市では開通イベントを総力を挙げて取り組んでいたことから、県にも協力してほしい旨を伝え粘り強く交渉しました。結果的に県の予算がつきました。ただ、想像以上にお客様が和光市に来られて一部の催しが実施できなくなってしまいました（笑）和光市のポテンシャルの高さを改めて感じた出来事でした。

## ● 対談の最後に

**いづる** 和光市は4年間で進んだ分野もありますが、まだまだ課題があります。県のお力をお借りする場面もあると思いますので今後とも和光市と県の架け橋になってください。

**陽上** はい。それぞれの議会で力を尽くし、市民の皆様も巻き込んで一緒に和光市を良くしていきたいでしょう。

公式ウェブサイトをご覧ください  
<http://iharayosuke.com/>

いはら陽輔

検索

twitter、facebook、ブログにて情報発信中！  
公式ホームページからアクセスできます。

twitter

facebook

Ameba

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷ 048-201-0791

E-mail ▷ [ihara.yosuke@gmail.com](mailto:ihara.yosuke@gmail.com)

Twitter ▷ @iharayosuke

ブログ ▷ <http://ameblo.jp/iharayosuke/>